

100-246

問題文

この患者に関連する薬物依存・耐性の記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ソビクロンとニコチンは、いずれも精神的依存を起こすが、身体的依存は生じない。
2. ソビクロンとニコチンは、いずれも耐性を生じない。
3. ニコチンは、中脳辺縁多巴ミン神経系を活性化する。
4. バレニクリンは、ニコチン性アセチルコリン受容体の部分刺激薬であり、ニコチン依存症の喫煙者の禁煙による退薬症候を軽減する。

解答

問246：2, 3問247：3, 4

解説

問246

選択肢 1 は、正しい選択肢です。

禁煙補助薬は、だんだん減らしていきます。

選択肢 2 ですが

胎児死亡増加などのおそれから、妊婦及び授乳婦に対して投与禁忌です。ちなみに、非喫煙者に対しても使用不必要であることから、投与禁忌です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

コーヒーや炭酸飲料（他にはビール・ワインなど）を飲んだ後は、口の中が酸性になり吸収が低下するため、しばらく使用を避ける必要があります。吸収がよくなるわけでは、ありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は、その通りの記述です。

ちなみに、バレニクリン（商品名：チャンピックス）はニコチンを補充するのではなく、ニコチン受容体 部分アゴニストです。

以上より、正解は 2,3 です。

問247

選択肢 1 ですが

ソビクロンとニコチン共に身体的依存を生じます。（ソビクロンは依存症・耐性がおきにくいように改良された薬ですが、不適切な量や期間における使用下において依存を生じない、とはいえません。）よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

ソビクロンとニコチン共に耐性を生じます。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 3,4 です。